

中部日本放送放送劇団の資料について

はじめに

中部日本放送（以下「CBC」）が昭和二十六年の開局まもなくから放送用の劇団（以下「劇団CBC」）を持っていたことは、名古屋では広く知られている。放送劇団の主な活躍の場としてはラジオドラマがあった。ラジオドラマは、劇場に足を運ばない演劇ファンを生み出したこと、「活動弁士」とはまた異なる、声による俳優「声優」を生み出した点で、従来の演劇と大きく異なる特徴がある。今や劇団CBCに所属していたメンバーは高齢化し、その資料も徐々に散逸しつつある。

本稿では、元CBCディレクターの松谷敦氏と、劇団CBCの元団員であった長谷川敬氏より提供頂いた資料から、劇団CBCの内容を紹介する。また、ラジオドラマの音源については「東海民放クラブ音風景の会」（CBCなど東海地域の民放の音声技術者のOB会。以下「音風景の会」）の成田徹男氏が所蔵されているものをデジタル化して提供して頂いたので、併せて紹介させて頂きたい。

飯塚 恵理人*

一 放送劇団の沿革

長谷川氏がまとめられた資料「中部日本放送放送劇団について」（以下「劇団について」）は、御自身が劇団三期生であることから信頼性の高い同時代資料であると思われる。この中からまず一〜五期の劇団員の氏名を挙げる。（在籍期間が一年以上の人については長谷川氏の御教示により★をつけた。また個人情報に関する部分や記号など一部を省略、変更した。）

- ・一期生 昭和二十五年後半入社（但し、二十六年に契約した者もいる。契約は全員一括してのことではなかった） 大村一平（本名・大村龍彦）、柳 有、今泉 洋（本名・池田典雄）、栗谷俊男（のちアナウンス部へ）、石黒節子、井川則子、田中幸子、藤岡広子、中村嘉奈子、★山尾澄子、★津島和子
- ・二期生 昭和二十七年春入社 浦野 光（のちラジオ東京・放送劇団へ）、★万代泰輔
- ・三期生 昭和二十八年春研究生として入り、七月に団員として契約する。宮田 桂、中山民生（本名・高田龍二）、舟木

淳（本名・舟橋淳一）、芹江敬（本名・長谷川敬）、大賀祥子、松川佳澄、森孝子、井藤敬子、高橋かつ子、文悦子（本名・横井悦子）、松原実智子、★永井陽子

注 ①宮田桂は、四年余在団したのちに劇団青俳へ入団。

その後森繁劇団にて活躍。

②長谷川敬は詩人・丸山薫に師事。昭和三十五年退団し放送作家へ。昭和三十八年春、東京へ移転。三木鶏郎主宰のCMソングプロダクションと作詞家契約。一年後、小説『青の儀式』にて文学界新人賞（芥川賞候補）、講談社児童文学新人賞佳作入賞その他。

③井藤敬子は、後にアナウンサーへ転向。

・新橋博、朝倉孝の両名が昭和二十九年以後、時期は別々に入団。

・四期生 昭和三十三年五月（三ヶ月の研究生を経て）団員契約。長谷川平八郎、大塚龍次、中江真司（本名・佐藤真司）、柴田伸之、鎌田吉三郎、岡本昭一、伊藤満喜子、稲生とみ子、伊藤友乃、此島愛子、坂玲子、湯浅純子、長谷川和枝、兼田秀子、加藤圭子

・五期生 昭和三十五年 瀧雅也、増岡弘、（以下姓のみの男性）藤田、久田、折原、（姓のみの女性）三田村

こうして出来た劇団CBCは活動期を経て終焉に向かう。「劇団について」はその過程を、「（CBCが）男子六十歳、女子五十五歳で定年制度となり、劇団員もこれに準じて定年を迎え、順次、団員数は減じる。もっとも若い年齢で、しかも最後まで在団した鎌田吉三郎は、昭和十二年（又は十一年）生まれにつき、平成九年には結果的に劇団は無くなる。最後の頃は、俳優の仕事は減少しているた

めにテレビ番組のフロアディレクターなどにも従事する。」と述べている。

六二

二 三期生の採用試験及び研修内容

劇団CBCは、テレビ開局以前に組織され、ラジオドラマの制作に関わった点で大きな特徴を持っている。このため、劇団員として要求される素質も研修内容も、「声優」としての活躍を期待するものが多かった。長谷川氏は、自らが受けた三期生の採用試験と研修の内容をまとめておられるので、「劇団について」を引用すると以下のようになる。

昭和二八年三月、第一回試験は学科試験。アナウンサー試験と同会場。CBC裏の『すみれ洋裁学院』教室に於いて。第二回試験は、朗読による音声テスト。第三回試験は台詞のテスト。第四回試験は面接。四月に研究生として採用される。四月二二日より、講義開始。アナウンサーと共に。講師は、文芸課長・中村精氏（元NHKアナウンサー）初日は、アクセントの基本。鼻濁音。四月二二日 連続ラジオドラマ『続・浮雲日記』録音の見学。四月二三日『続・浮雲日記』出演者との座談会。出演者 清水元 久松保夫 田中明夫 永井百合子 内容。俳優は台本の人物と一致しなければならない。即ち、台本の人物に血肉を与え生活させるべきである。間（マ）の重要性『詩における行間との対比』笑い 口で笑うな。身体で笑うこと。四月二四日 発声指導 講師・松井辰三郎。正しく口を開ける。呼吸の仕方。腹部に力を入れる。四月二五日 発声指導 楽譜法について。音符記号について。発声練習。四月二六日

NHK名古屋放送劇団・公演観劇。名古屋駅前 名古屋商工会館ホール。一 狐のしっぽ 二 あらし 四月二七日 標準語指導 講師・内田英一氏(元NHKアナウンサー) 標準語と方言 アクセント 発声器官／音声言葉 日本語の二大特色について 四月二九日 講師・松井辰三郎 発声練習 リズムとメロディ／律音階 四月三十日 標準語指導 講師・内田英一氏(元NHKアナウンサー) 鼻濁音 四月三十日 標準語指導 講師・内田英一氏(元NHKアナウンサー) 無声化について 無声子音 無声母音 五月二日 講師・松井辰三郎 発声練習 俗楽・オペラ 五月三日 標準語指導 講師・内田英一氏(元NHKアナウンサー) 無声化について 無声子音 無声母音 連濁 イントネーション エロキュウション 五月四日 標準語指導 講師・内田英一氏(元NHKアナウンサー) 用言の活用 複合詞 疑問代名詞など ■この頃、講師・山本安英氏 朗読実習など四回ほど。早口言葉『外郎売』の練習 五月一六日 標準語指導 講師・内田英一氏(元NHKアナウンサー) 標準語とアクセントの大原則 複合語 拗音 ■この頃から、ラジオドラマへ端役で出演しはじめる。六月十二日 講師・杉山誠 演劇概論 思潮 欧州演劇 近代劇について 六月十九日 講師・杉山誠 演劇概論 ロシアモスクワ芸術座 六月二六日 講師・杉山誠 演劇概論 最終回日本新劇運動 新派 築地劇場 ■映画試写会での鑑賞 演劇鑑賞など 新制作座俳優たちとの交流

演技に関する指導はあまりなく、発声・発音・標準語・朗読などの指導が主体であり、あくまでラジオドラマの声優としての指導であったと考えられる。前章で示したようにメンバーの中で後年アナ

ウンサーになる人が複数出るのは、このような「声」をメインとする性格ゆえと思われる。

三 劇団員が在籍中に会った芸能人

長谷川氏が劇団CBC在籍中に、ラジオ・テレビ番組に出演した際に会った芸能人を挙げる。

古川ロッパ、榎本健一、岸井 明、伴淳三郎、八波むと志、由利 徹、南 利明、清川虹子、南 道郎、国友昭二、ディックミネ、春日八郎、笠置シズ子、灰田勝彦、木村 功、岡田英次、高島忠夫、柳家金語楼、堺 駿二、丹下キヨ子、関 弘子、トニー谷、丘 寵児、森繁久弥、中原美紗緒、大塚道子、坂東好太郎、十朱久雄、桂小金治、山岡久乃、田中明夫、天草四郎、音羽美子、芦田伸介、小池朝雄、谷村昌彦、三ツ矢歌子、阿井美千子、細川チカ子、榎本美佐江、田端義夫、若水ヤエ子、赤坂小梅、淡谷のり子、岡 晴夫、並木路子、青木光一、藤島恒夫、三浦光一、若原一郎、コロムビア・ローズ、松尾和子、大津美子、神戸一郎、岡本敦郎、曾根史郎、若山 彰、山形 勲、本山可久子、杉 狂児

当時のラジオ・テレビ番組に非常に多くの歌手・俳優が関わっていたことがわかる資料だが、同時にこれは「声優」として育てられた専属の劇団員でない者も、ラジオドラマなどへ十分進出していったことを意味する。劇団員の募集がなくなり、最後の団員の定年とともに劇団が消滅したのは、テレビ・ラジオにおける「声優」・「ナレーション」・「アナウンス」分野に他の分野である歌手や俳優が進出したことが大きいように思われる。

四 劇団CBCの雑誌「声優」

長谷川氏より、松谷氏を通じて劇団CBCの機関紙である「声優」の第二号から第五号のコピーを頂いた。長谷川氏が籍中に発行されたものだが、当時の劇団の活動内容が非常によくわかる。

その中で第二号は昭和二十八年十一月十五日発行であるが、その最終十七ページに「劇団・効果団出演番組表（主なる）」という表が掲載されている。これを以下に紹介すると、

月曜日…「子供のお部屋」（月・火・水・木・土 午前九時十五分～九時三十分）、「おしやべりさん」（午後一時三十分～一時四十分）、「夜のコント」（月・火・水・木・金・土 午後十時五十分～十一時）

火曜日…「シルバー劇場」（午後七時三十分～八時）

水曜日…「生活の綴方」（午後一時二十分～一時三十分）、「日立オアシスタイル」（午後一時三十分～一時四十五分）

金曜日…「映画試写室」（午後三時四十五分～午後四時）、「季節の譜」（午後十一時～十一時三十分）

土曜日…「キャプションコント劇場」（午後一時三十分～二時）、「CBC劇場」（午後二時三十分～三時）、「ビビーパズル」（午後五時三十分～六時）

日曜日…「家庭ユーモア」（午前九時三十分～九時四十五分）となる。一週間毎日出演番組があり、「子供のお部屋」「夜のコント」のように時間は短いが週に複数回あるものや、「シルバー劇場」「CBC劇場」のような三十分番組が五本もあることを考えると、かなりの仕事量であったことが想像される。また、同じく第二

号の十六ページに掲載されている劇団在籍者名簿を引用すると、「大村一平 柳有 今泉洋 浦野光 新橋博 中山民生 舟木淳 宮田桂 芹江敬 田中幸子 井川則子 中村嘉奈子 藤岡ひろ子 松川佳澄 大賀祥子 森孝子 高橋かつ子 永井陽子 松原実智子 文悦子 井藤敬子」で男性九名、女性十二名の総勢二十一名となる。別に「効果団」として「三輪保雄 千藤洋 山本茂夫」が在籍する。彼らは前章に示した劇団一期～三期生ではない。効果団が劇団内にあるということは当時のラジオドラマにおいて効果音が重要な役割を持っていたためと考えられる。

五 CBCラジオドラマ音源一覧

こうして劇団CBC団員も参加して、数々のラジオドラマが制作された。そのなかでいくつかの番組は「音風景の会」によって原本のオープンリールテープが保存されている。会の成田氏に、今回そのオープンリールテープからMDへ録音し保存されていたラジオドラマその他の番組を、デジタル化・WAVファイル作成をして頂いた。その資料データを以下に挙げる。このデータも成田先生がまとめてくださったものである。「MD」番号は元のMDに付いていた番号による。筆者が供与して頂き研究室でデータ保存しているWAVファイルの番号も同じである。

- (1) MD—1① 題名…季節の譜 第1集 副題名…雨と音楽と歌 放送日時…昭和28年6月19日 午後11時00分から11時30分
録音時間…29分50秒 プロデューサー…中村精
- (2) MD—1② 題名…季節の譜 副題名…旅 放送日時…昭和28年9月11日 午後11時00分から11時30分 録音時間…29分50

- 秒 プロデューサー…中村精
- (3) M D—2 ① 題名…季節の譜 副題名…波に消えゆく砂の文字 放送日時…昭和28年8月28日 午後11時00分から11時30分 録音時間…29分50秒 プロデューサー…中村精
- (4) M D—2 ② 題名…季節の譜 副題名…詩人とカンガール 放送日時…昭和28年11月20日 午後11時00分から11時30分 録音時間…29分50秒 プロデューサー…中村精
- (5) M D—3 ① 題名…季節の譜 副題名…白萩の精 放送日時…昭和28年9月18日 午後11時00分から11時30分 録音時間…29分50秒 プロデューサー…中村精
- (6) M D—3 ② 題名…季節の譜 副題名…そよ風のまにまに 放送日時…昭和28年10月9日 午後11時00分から11時30分 録音時間…29分50秒 プロデューサー…中村精
- (7) M D—4 ① 題名…AR劇場 副題名…居酒屋 放送日時…昭和27年10月28日 録音時間…(飯塚注 記載なし) プロデューサー…中村精
- (8) M D—4 ② 題名…AR劇場 副題名…或る少女の記録 放送日時…昭和28年5月2日 午後1時05分から1時30分 録音時間…24分20秒 プロデューサー…中村精
- (9) M D—5 ① 題名…AR劇場 副題名…天使も亦裁かれる 放送日時…昭和28年7月18日 録音時間…29分32秒 プロデューサー…中村精
- (10) M D—5 ② 題名…四月会ドラマ 副題名…川霧 放送日時…昭和29年10月15日 午後2時30分から3時00分 録音時間…28分50秒 プロデューサー…中村精
- (11) M D—6 ① 題名…三菱劇場 東京支社 副題名…ファウス

- ト 放送日時…昭和28年11月8日 録音時間…28分11秒 プロデューサー…伊藤松朗
- (12) M D—6 ② 題名…三菱劇場 東京支社 副題名…カルメン 放送日時…昭和28年11月15日 午後8時00分から8時30分 録音時間…28分50秒 プロデューサー…伊藤松朗
- (13) M D—7 ① 題名…三菱劇場 東京支社 副題名…椿姫 放送日時…昭和28年12月24日 午後8時00分から8時30分 録音時間…29分15秒 プロデューサー…伊藤松朗
- (14) M D—7 ② 題名…三菱劇場 東京支社 副題名…新お蝶夫人 放送日時…昭和29年1月17日 午後8時00分から8時30分 録音時間…28分50秒 プロデューサー…中川一夫
- (15) M D—8 ① 題名…仲よし劇場 副題名…いたずら狐 放送日時…昭和33年5月17日 午後2時30分から3時00分 録音時間…27分30秒 プロデューサー…本間健夫
- (16) M D—8 ② 題名…仲よし劇場 副題名…愛する者 放送日時…昭和33年11月8日 午後2時30分から3時00分 録音時間…78分30秒 プロデューサー…本間健夫
- (17) M D—9 ① 題名…年始番組 副題名…初夢アラビアンナイト 放送日時…昭和33年1月 録音時間…(飯塚注 記述なし) プロデューサー…佐藤年
- (18) M D—9 ② 題名…カトレヤ劇場 副題名…壁 放送日時…昭和37年6月25日 午後8時30分から9時00分 録音時間…26分23秒 プロデューサー…水谷清一
- (19) M D—10 ① 題名…三菱劇場 東京支社 副題名…王様の耳はロバの耳 椿姫 放送日時…昭和28年 午後8時00分から8時30分 録音時間…29分00秒 プロデューサー…佐藤年

- (20) M D—10 ② 題名…季節の詩 副題名…狐の子 放送日時…昭和28年10月16日 午後11時00分から11時30分 録音時間…26分23秒 プロデューサー…中村精
- (21) M D—11 題名…キリストへの時間 副題名…キリスト降誕特別番組(Xmas用) 放送日時…昭和29年12月25日 午前9時30分から9時45分 録音日時…昭和29年12月11日 録音時間…16分35秒 プロデューサー…日向英昭
- (22) M D—12 題名…新春特別番組 東京支社 副題名…エノケンの初笑い猿飛び佐助 作者…御荘金吾 出演…榎本健一 旭輝子 山東昭子 浮田左武郎他 放送日時…昭和31年1月4日 録音時間…29分00秒 プロデューサー…岡山泰
- (23) M D—13 題名…AR劇場 副題名…(飯塚注 記述なし) 放送日時…(飯塚注 記述なし) 録音時間…28分33秒 プロデューサー…中村精
- (24) M D—14 ① 題名…季節の譜 副題名…(飯塚注 記述なし) 放送日時…昭和29年5月6日 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和29年5月5日 録音時間…28分31秒 プロデューサー…中村精
- (25) M D—14 ② 題名…季節の譜 副題名…愛の章 放送日時…昭和28年 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和28年12月4日 録音時間…32分30秒 プロデューサー…中村精
- (26) M D—15 ① 題名…季節の譜 副題名…小春の休日 放送日時…昭和28年12月11日 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和28年12月2日 録音時間…29分50秒 プロデューサー…中村精
- (27) M D—15 ② 題名…季節の譜 副題名…落葉 放送日時…昭和28年12月4日 午後11時00分から11時30分 録音日時…28年11月27日 録音時間…29分50秒 プロデューサー…中村精
- (28) M D—16 ① 題名…季節の譜 副題名…13歳の少女の自画像 放送日時…昭和28年6月26日 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和28年6月24日 録音時間…29分40秒 プロデューサー…中村精
- (29) M D—16 ② 題名…季節の譜 副題名…雷鳥 放送日時…昭和28年7月3日 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和28年7月3日 録音時間…26分35秒 プロデューサー…中村精
- (30) M D—17 ① 題名…季節の譜 副題名…夏の海に想う 放送日時…昭和28年6月26日 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和28年7月17日 録音時間…28分40秒 プロデューサー…中村精
- (31) M D—17 ② 題名…季節の譜 副題名…山の彼方の空遠く 放送日時…昭和28年7月31日 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和28年7月28日 録音時間…29分30秒 プロデューサー…中村精
- (32) M D—18 ① 題名…季節の譜 副題名…山のをどり 放送日時…昭和28年8月14日 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和28年8月 録音時間…30分20秒 プロデューサー…中村精
- (33) M D—18 ② 題名…季節の譜 副題名…風と家と岬 放送日時…昭和28年10月30日 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和28年10月 録音時間…28分40秒 プロデューサー…中村精
- (34) M D—19 ① 題名…季節の譜 副題名…皿絵画きの2世 放送日時…昭和28年10月30日 午後11時00分から11時30分 録音日時…昭和28年10月 録音時間…28分40秒 プロデューサー…中村精

送日時・昭和28年11月6日 午後11時00分から11時30分 録音日時・昭和28年11月 録音時間…26分30秒 プロデューサー…中村精

(35) MD—19② 題名…季節の譜 副題名…天と地の結婚 放送日時・昭和28年11月13日 午後11時00分から11時30分 録音日時・昭和28年11月11日 録音時間…29分04秒 プロデューサー…中村精

(36) MF—1 題名…エノケン人生素材集 放送日時…不明

題名以下の音源についての表記は、元々の放送音源であったオープリールの外箱に書かれていたものと思われるが、現在、このようにリストアップしてみると漏れている項目がある。放送日や題名などはCBC所蔵の確定番組表を調査するべきであるが、現在まだその調査を行っていない。今後の課題としたい。

なお(15) MD—8①、(16) MD—8②のQUEシートを成田氏より提供して頂いたので写真1、写真2に挙げる。このQUEシートに書かれている録音日時、録音時間と、成田氏に頂いた前記の音源一覧の記載は異なるが、原データ通りとさせて頂いた。

「音風景の会」に提供して頂いた音源は、昭和三十六年以降に放送された一部を除いて著作権は消滅している。しかしながら放送作家の著作権は死後五十年間保護されるため、これらをネットで配信する場合には作家の承諾が必要になる。MD—12の御荘金吾以外には番組の作家名が示されていないので調査しなければならないが、松谷氏によればこの一覧に載るプロデューサーはいずれも亡くなっているとのこととで難航が予想される。情報・資料があればぜひ教えて頂きたい。

写真 1

[illegible]

写真2

まとめ

以上、松谷敦氏、長谷川敬(芹江敬)氏、「音風景の会」成田徹男氏から頂いた資料の紹介をさせて頂いた。民放発足時のラジオドラマは他ジャンルの演劇や映画等にも大きな影響を与えたと考えられるが、実態はよく知られていない。それは今後の課題とさせて頂きたい。

飯塚の主な関心は、ラジオ・テレビという放送がいかに古典芸能を変化させてきたかという点にあるが、演劇も歌舞伎・新派から放送演劇が誕生することによって大きく変化した。関係者が高齢化していることから、これらに関する資料は今後、急いで収集する必要がある。

参考文献

「声優」第二号 大村一平発行 浦野光編集 劇団C B C 昭和二十八年十一月十五日

補記 貴重な資料を提供頂きました松谷敦氏、長谷川敬（芹江敬）氏、成田徹男氏に心より感謝致します。なお、本稿は平成二十三年度科学研究費助成基盤研究(C)、及び平成二十二年度放送文化基金助成による成果の一部となります。